Ⅶ-3　診療放射線学研究科博士前期課程

１．授業科目・単位　博士前期課程

教　育　課　程　等　の　概　要

（診療放射線学研究科診療放射線学専攻（M））

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	年次配置 前期	年次配置 夏季集中	年次配置 後期	年次配置 春季集中	備考		群馬大学連携科目	小児・AYA・希少がん専門医療人養成医学物理コース ●:必修科目 ○:選択科目 無印:自由科目	医学物理コース(R2) ●:医学物理必修科目 ○:医学物理選択科目 無印:選択科目	医学物理コース(R3～) ●:医学物理必修科目 ○:医学物理選択科目 無印:選択科目
共通科目	診療放射線学特論	1･2前		2			○			○				集中				
	研究方法論と基礎統計学	1･2前		2			○		○								●	●
	放射線画像解剖学特論	1･2前		2			○		○					共同		○		
	放射線学シミュレータ特論	1･2前		2			○		○					共同	○		○	○
	保健医療特論	1･2後		2			○				○			オムニバス		○	●	●
	保健医療安全学特論	1･2後		2			○				○			共同				
	基礎物理学特論	1･2前		1		○			○					オムニバス			●	●
	量子力学特論	1･2前		2		○			○					オムニバス			●	●
	原子核物理学特論	1･2後		2		○					○			オムニバス			●	●
	専門職教育展開論Ⅰ（カリキュラム編成の基礎）	1前		2			○		○				兼2	共同				
	専門職教育展開論Ⅱ（カリキュラム編成の実際）	1後		2			○				○		兼2	共同				
	研究と倫理	1前		2		○				○			兼3	集中 オムニバス				
	教育と倫理	1後		2		○						○	兼2	集中 オムニバス				
	小計（13科目）	－	0	25	0		－						兼4	－			9単位以上	9単位以上
専門科目 放射線画像検査学分野	磁気共鳴学特論	1･2後		2			○				○			共同				○
	造影検査学特論	1･2後		2			○				○							
	放射線画像技術学特論	1･2前		2			○		○					共同	○		●	●
	放射線画像解析学特論Ⅰ	1･2前		2			○		○					共同	○			
	放射線画像解析学特論Ⅱ	1･2前		2			○		○					共同	○		●	●
	機能画像学特論	1･2後		2			○				○			共同				
	核医学検査技術学特論	1･2前		2			○		○					共同			●	●
	医療画像情報学特論	1･2後		2			○				○			共同				
	（医学物理学特論Ⅱ（R4以降開講予定）																	
	（医学物理学特論Ⅳ（R4以降開講予定）																	
	小計（8科目）	－	0	16	0		－							－				
放射線治療学分野	放射線治療学特論	1･2前		2			○		○					共同		●	●	●
	先端放射線治療学特論	1･2後		2			○				○			共同		○	●	●
	放射線生物学特論	1･2前		2			○			○				集中		○		
	放射線管理計測学特論	1･2前		2			○		○					共同				
	放射線安全管理学特論	1･2後		2			○				○			共同	○	○		○
	重粒子治療技術学演習	1･2前		2			○		○							○		
	医学物理学特論Ⅰ	1･2後		2		○					○			オムニバス				●
	（医学物理学特論Ⅲ（R4以降開講予定）																	
	医学物理学特論Ⅴ	1･2前		2		○			○					オムニバス				●
	小計（8科目）	－	0	16	0		－							－				
	計（16科目）																12単位以上	14単位以上
特別研究	診療放射線学特別研究	1～2通	12				○		○	○	○	○					●	●
	小計（1科目）	－	12	0	0		－							－			12単位	12単位
合計（30科目）		－	12	57	0		－						兼4	－			33単位以上	35単位以上

学位又は称号	修士（放射線学）	学位又は学科の分野	保健衛生学関係

卒業要件及び履修方法

（修了要件）
本研究科に原則として2年以上在籍し、所定の単位（30単位以上）を修得すると共に必要な研究指導を受けた上で、修士論文の審査及び最終試験（口頭試問）に合格しなければならない。

（履修方法）
（１）所属する分野の専門科目から6単位以上を履修する。
（２）診療放射線学特別研究12単位を履修する。
（３）残りの12単位は、共通科目、専門科目から選択履修するものとする。
（４）専門科目については、他分野の専門科目を履修できるものとする。
（履修科目の登録の上限）
1年間に24単位とする。ただし、集中講義として開講する授業科目はこの中に含めない。

授業期間等

１学年の学期区分	２期
１学期の授業期間	１５週
１時限の授業時間	９０分

（修了要件）
1)必修科目(●)2単位を履修する。
2)選択科目(○)を6単位以上履修し合計8単位以上を履修する。

（医学物理コース修了要件）
本研究科に原則として2年以上在籍し、所定の単位(33単位以上)を修得すると共に必要な研究指導を受けた上で、修士論文の審査及び最終試験(口頭試問)に合格しなければならない。

（履修方法）
(1)共通科目から医学物理必修科目(●)5科目9単位を含めて9単位以上を履修する。
(2)専門科目から医学物理必修科目(●)5科目10単位を含めて12単位以上を履修する。
(3)診療放射線学特別研究12単位を履修する。
（履修科目の登録の上限）
1年間に24単位とする。ただし、集中講義として開講する授業科目はこの中に含めない。

（医学物理コース修了要件）
本研究科に原則として2年以上在籍し、所定の単位(35単位以上)を修得すると共に必要な研究指導を受けた上で、修士論文の審査及び最終試験(口頭試問)に合格しなければならない。

（履修方法）
(1)共通科目から医学物理必修科目(●)5科目9単位を含めて9単位以上を履修する。
(2)専門科目から医学物理必修科目(●)7科目14単位を含めて14単位以上を履修する。
(3)診療放射線学特別研究12単位を履修する。
（履修科目の登録の上限）
1年間に24単位とする。ただし、集中講義として開講する授業科目はこの中に含めない。

放射線生命医科学コース（連携科目）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	年次配置 前期	年次配置 夏季集中	年次配置 後期	年次配置 春季集中
（放射線生命医科学コース（群馬大学連携科目））	統計・情報処理演習	1		2			○					
	放射線生物学	1		2		○						
	情報医療学講義	2		2		○						
	医用加速器工学	1		1		○						
	臨床腫瘍学講義	2		2		○						
	医学物理演習	2		1			○					
	医学物理実習	2		1				○				

（連携コース修了要件）
4単位以上10単位以内で履修する。
6単位まで研究科の修了要件単位（30単位以上）に含むことができる。